

<第164号>

事務局だより

平成28年12月9日発行

現在の会員数

合計 223名

(男性 152名)

(女性 71名)

□黒石りんごまつり協力者

11月19・20日の2日間にわたり、スポカルイン黒石で開催された「第26回黒石りんごまつり」へ当センターも参加。作業状況や各種事業の写真展示、シルバークイズと会員の作品又は自慢のお宝を展示したところ、大勢の方が当センターのブースへ訪れ楽しんでいました。その結果、多くの方々へシルバー人材センターをPRすることができました。ご協力いただきましてありがとうございました。

☆ 出品者： 宇野芳徳、葛西俊逸、木村那智子

□高齢者世帯除雪作業に従事する方へ

12月1日から、高齢者世帯除雪作業がスタートしました。この仕事は、利用者宅の玄関から公道まで幅1メートル程度の生活通路を除雪するもので、朝早く作業する必要はありません。

しかし、利用者から「駐車場の除雪もして」「屋根雪も片付けて」「介護の迎えが来る前に除雪して」と、お願いされることもあるようです。

もしこのようなお願いをされたときは、「シルバーに聞いてみます」と言ってその場を収め、すぐにシルバーへ報告してください。事務局で対処します。

□平成29年配分金等振込日

- ①配分金振込日（ピンク色の封筒で明細書が届くもの）…毎月22日。
- ②派遣賃金振込日（灰色の封筒で青森県シルバー人材センター連合会から明細書が届くもの）…毎月27日。

振込日が土日祝日に当たった場合、直前の平日に変更になります。

明細書は、振込日の2～3日前までに自宅に届きます。

□就業希望者や興味のある方は出席を

家事援助サービス、介護サービスを希望して就業したい方は、次のとおり家事・介護班ミーティングを開催していますので、出席して下さい。

- ・家事援助サービス・・・一般家庭等の掃除や買い物代行業務など
- ・介護サービス・・・病院で受診を受ける際の介助など

1. 日 時 12月22日（木）午後2時～1時間程度
（毎月第4木曜日を基準に開催）
2. 場 所 シルバーワークプラザ（シルバー事務所建物）2階
3. 内 容 日程表配布、情報交換、接遇、事業計画など

□予防対策をしっかりと

これからの時期は、風邪やインフルエンザに注意を要する季節となります。みなさんはインフルエンザの予防接種はお済ですか？予防接種のお陰でインフルエンザにかかっても重症化にならずに済みます。自分のため、あるいは大切な家族へうつさないためにも「かからない」「うつさない」対策を実施しましょう。

※インフルエンザの感染経路は口と鼻です。

接触感染：ウイルスが付着した手で口や鼻を触ることで感染します。

飛沫感染：せきやくしゃみによって放出されたウイルスを直接吸い込むことで感染します。

※インフルエンザから身を守るためには？

- ①予防接種を受ける
- ②マスクの着用
- ③良質な睡眠
- ④バランスのとれた食事
- ⑤適度な運動
- ⑥手洗い・うがい

もし、急に38度以上の熱が出て、咳やのどの痛み、全身の倦怠感けんたいかんを伴うなどインフルエンザが疑われる症状が出た場合は、早めに病院へ行きましょう。特に、子どもや高齢者、持病のある方は肺炎や脳症などの合併症が現れるなど重症化する可能性があるため、そうなる前に病院で受診しましょう。

□理事長のつぶやき ～事の本質の議論を～

今年もあっという間に過ぎ、もう12月（師走）になってしまった。今年は何があったのかと自分なりに整理してみた。

私が感じた世界と日本について述べてみたい…。まず、世界では日本選手が躍進し成果があったという評価されるリオオリンピックと次期アメリカ大統領に、女性差別や格差社会、TPP脱退等暴言と思える発言が物議を醸しているトランプ氏に決まったことである。

日本国内では、東日本大震災から満5年。5年も経ったのに福島第一原発事故の影響で未だに故郷へ帰ることができない住民がまだ数万人に及ぶことと、スポーツでは国民栄誉賞受賞の伊調馨さん（八戸市出身・オリンピックレスリング 58 キロ級 4 連覇の偉業）で、この快挙は永遠に語り継がれていくものだと思う。

私の好きな野球では、北海道日本ハムファイターズが、今年の台風で大きな被害を受け沈みがちな北海道民の期待を一心に背負って、10年ぶりの“日本一”に輝いた。その中心となったのが、投手と打者の二刀流で宇宙人の異名を持つ話題の大谷翔平選手（岩手花巻東高）で、^{はちめんろつび}八面六臂の活躍は物怖じしない現代っ子の代表どおり目を見張るものであった。

そして、「都民ファースト」の圧倒的な支持で新知事になった小池百合子氏である。その小池氏が最初に手掛けたのが築地市場の豊洲市場移転に伴う盛り土問題が発覚した上に、2020年東京オリンピック開催が決まった施設経費である。当初の施設費1兆5千億位と言われていたが、誘致するためにズサンと思える見積りを提出したもので、倍以上の3兆円を超える予算になることが判明し、すったもんだしている様は情けなくまだ結論は出ていないが頑張っしてほしい。

東京都やJOCはもっと事の本質を議論してほしいと願うものである。

私の考える事の本質は、市場問題では食の安全と利便性が第一だと考えると共に、誰も責任を取らない日本の行政の体質（間違いが分かっても変えようとしなない）が問題である。

オリンピックの施設では、①既存の施設で利活用できるものは使用

②建てるときは周りの環境と合っている③オリンピック終了後は最低でも60年～70年は使用④国民が納得して誇れる 等々で、何よりも国民の血税が使用されることと、“後世にツケ（借金）を残さない”ことではないだろうか。誰かの利己主義や儲けのためにやることではないと云いたい。

世の中は年金だけでは生活できない人達や、そして将来を担う子ども達が貧困（6人に1人）だという新聞報道もあり、決して楽ではないという現状をどう解決するのか、それらのことも踏まえ政府等関係団体も誰のために何を為すべきなのかを真剣に審議し慎重に進めて頂きたいものである。

また、昨今ではアメリカやフィリピン、イギリスなど過激な発言が目立つ各国のリーダーが台頭し、少数の意見を権力（力）で封じようとする風潮も見られるが“少数の意見の中に真実が隠されている”ということを忘れないで欲しい。

来年は酉年、我々田舎に住む一般大衆、そして日本の将来を背負って立つ子達に潤沢に行き渡らないまでも、将来に希望を抱き、生きがいを実感できるトリ組みをして頂きたい。

今年最後のつぶやきは、本来の呟き（小言、愚痴）になってしまいました。「笑う門には福来る」といいますので会員の皆さんには、トリ年に因んで金運が舞い込み“トリ越苦勞”のないよう笑顔でいれば幸せがやって来ることをお祈りします。良いお年を…。

発行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131

緊急連絡先 080-6011-5131

『今年一年お世話になりありがとうございました。良い年末年始をお過ごしください。また来年もどうぞよろしく願いいたします。』